

スタッフ個別評価・様式

実施日 平成 29 年 10 月 19 日

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

氏名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none"> ・新規ご利用者についての情報は、ケアマネジャーが作成したアセスメントシートを全職員に配布して、利用開始前に職員が目を通して状況を把握する。 ・利用開始後については、どの職員もご利用者との関わりから得た情報や気づきを記録や職員間の連絡ノートに残し、全職員が連絡ノートに目を通すことを徹底し、情報共有をする。

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない
① 前回の課題について取り組みましたか？	2	1 1	0	0

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない
① 本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	2	1 2	0	0
② サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？	0	1 4	0	0
③ 本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか？	2	1 2	0	0
④ 本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？	1	1 3	0	0

できている点
<p>・新期ご利用者の情報などは事前の会議に参加し、ケアマネからの情報を自分なりのメモにまとめている。事前に配布されたアセスメントシートに目を通して状況把握をしている。アセスメントシートにより情報は理解しやすい。リーダーの際は連絡帳にご利用者の情報を細かく記入している。連絡ノートでの引き継ぎ、口頭での意見交換は出来ている。連絡ノートを必ず見ている。連絡ノートから情報共有出来ている。利用されて日の浅いご利用者とは特にコミュニケーションを密にし、信頼関係構築に努めたり、様子を細かく記録に残している。新規ご利用者が通いの際には傾聴・声かけがよく出来ていると思う。新規の方が必要としているサービスはなんとか出来ている。家族の不安等、他の職員から情報を得て配慮している。会話でコミュニケーションが取れるご利用者は積極的に関わり、個人への対応方法や要望の聞き取りなどを行い、個人に合う支援が出来るよう心掛けている。コミュニケーションが取れないご利用者に関してはアセスメントシートの内容を把握して他の職員とのやりとりを通じて適切な対応が取れるよう努めている。送迎時などの時なるべく家族に話しかけるようにしている。現場で迷った時には事業所に電話を入れ、指示を仰ぎ正しくサービスを行う。初めてのご利用者・家族には慎重に接し、信頼関係を最初に築いていきたいと思っている。本人・家族に話しを伺い、直面の課題や隠れた課題をを把握しようと心掛けている。</p>

できていない点
<p>・急な利用など、職員同士のミーティングをする時間が摂れずに利用開始となる場合に書面での情報共有にも限界があるように感じる。利用開始前にミーティング等が行えていない。情報ニーズについて、利用開始前にあまり共有できていない。各々の職員がそれぞれ疑問・質問している。出向き利用者の情報が、当日勤務職員間のみで口頭で共有している時も少しある。情報・気づきを連絡ノートに記録することは全ての職員が出来ているわけではない。得た情報を細かく連絡ノートに記録することが出来ていない。家族の不安の持ち方が違うのでこちらの思いが伝わらない時がある。当日いる職員との口頭のやりとりで終わってしまう。その為に統一した支援が出来ていないと感じる。連絡ノートを見逃してしまう時がある(自分の休みが続いた時など)・情報を共有することや伝える際に伝え方に注意している。</p>

なぜ？ どうして？ できていないのか？ (その理由)

・疑問や質問が出るのはわかり易い方法で情報を得る事が出来ていないから？・連絡ノートへは情報が大体書かれているが、業務連絡・ご利用者情報等全て一緒に書かれているのでわかりにくいところもある。重要な事は連絡ノートに残すが、全員が出来ているか不明。口頭で良しとしてしまっている時がある。パソコンの記録を見る時間は無いので他の職員の記録が読めない。大まかな部分はできているが細かな部分が曖昧である。一休での支援の方向性を自分自身理解していない(統一した方が良いのか？個人のやり方で良い意味で刺激があった方が良いのか？)・具体的に目的があった方がノートに書くべきことがわかり易い。・新規利用者に関しては、利用開始日から1週間位、どのような対応をとったのか記録する用紙があっても良い(細かく「出来る」「できない」を書くシートの作成や、どのような声かけ対応で出来たのかの説明欄を制作する等々)共有しやすい用紙があるとわかり易いと思う。日々の業務をこなす事でミーティングをする時間が作れない。

スタッフ個別評価・様式

実施日 平成 29 年 10 月 19 日

2. 「～したい」の実現
(自己実現の尊重)

氏名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 各職員が受け持つ担当ご利用者を常に意識し、特に積極的にコミュニケーションを図りながら、ご利用者の「～したい」という言動を見逃さずに記録に残す。 「～したい」という担当利用者の希望を直接聞けなくとも、ケアマネ訪問時にご本人や家族に聞いてもらうなどして実現できるよう担当ご利用者とケアマネジャーが話し合いケアプランに反映させる。
---------	---

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
①	前回の課題について取り組みましたか？	0	6	6	0

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
①	「本人の目標（ゴール）」がわかっていますか？	0	7	6	0
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？	0	4	7	0
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？	0	5	8	0
④	実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか？	0	3	10	0

できている点	<p>・担当する利用者に関しては個人ファイルを確認している。担当ご利用者だと言う意識を持ち接している。当面の目標はケアマネ等から情報を得て共有出来ている。通い利用の際、やりたい事・やっていきたい事の聞き取りをするよう心掛けている。可能な限り本人の「～したい」を実現できるよう個別に考えている。担当する利用者に関してはもう一人の担当職員とケアについて話をしている。同じ担当職員と声を掛け合いながらだんだん根付いており、コミュニケーションはとっている。本人が最終的にどうなりたいかは本人に聞くようにしている。積極的にコミュニケーションを図る事は出来ている。ご利用者の「～したい」やゴールについてはアセスメントシートで理解は出来る。担当ご利用者の意識は、担当ご利用者とは将棋を行ったり、お話を少し多くコミュニケーションをとるようにしている。事業所に通所している間は快適な生活ができるよう気配りをしている。好きな歌を唄ったり、楽しい話をして穏やかな日々が流れる様にしている。</p>
--------	---

できていない点	<p>・会議内のミーティングで担当ご利用者との関わりの発言が出来ていない。ご利用者本人からの希望を見出せていない。担当ご利用者に対しての意識をつい忘れがちになる。ゴールはあまり分かっていない。ご利用者の目的に沿ったことが出来ているか疑問。「～したい」を聞き出しても個別に対応するのはどうかという意見が出たので考えてしまう。全員に対して平等に関わっている為、担当ご利用者を常に意識する事ができていない。ご利用者からしたい事の聞き取りは行っているが実現には至っていない。「～したい」と具体的に言葉で伝えられない方の希望は把握できていない。プランへ反映できていない（具体的なものがあるとわかり易い）・老々介護の方の自宅での暮らし方が把握できていない。家族との関わりやコミュニケーションがあまり取れていない。本人の目標やしたいことに関して明確に把握していないと感じる。個別支援などの検討が十分出来ているかは今後の課題。</p>
---------	---

なぜ？ どうして？ できていないのか？（その理由）	<p>・担当ご利用者のケース検討時の他は意識が出来ていない。・手のかかるご利用者のほうに目が行ってしま</p>
---------------------------	---

いなんとなく日々が過ぎてしまう。限られた時間の中で関わる時間が短い。本人のにとってのゴールに関してパートだから詳しくはわからなくてもいいかと思っていたが、これからは関わり、積極的に共有するようにしたい。会議などで話が出ないが自分からも進んで言わない。担当ご利用者を意識しないのは全員に対して分け隔てなく接していたいという気持ちから。「どこか行きたい所はありますか？」とお聞きした場合、「わからない」「別にない」等の返事があるとこちらから提案するのでは強制的な支援になってしまうのではと考える時がある。言葉にできないご利用者の気持ちをくみ取り、実行に移していくことに不安があるのではないか。本人がしたいことを表現できない場合。家族にお聞きすることはほとんど無いので実現できない。本人の好きな事の把握と家族からの情報が不足している。出来ていても特に成果として見受けられない。家族との関係が曖昧である。(自宅での暮らしの把握、コミュニケーションがとれないことについて)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者担当制を前年以上に活性化させる為、職員は担当利用者のサービス担当者会議の日程を把握するよう努め、年度内で1回は参加し、直接ご利用者と話をしたり、自宅での環境を実際に見たりする機会を設ける。 ・担当者会議に出席できなくとも、ケアマネや出席した職員から情報を得るよう努める。
---------	---

個人チェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない
①	前回の課題について取り組みましたか？	0	8	3	1

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？	0	5	9	0
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	2	11	0	0
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？	0	8	5	0
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	2	11	0	0
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	1	12	0	0

できている点	<ul style="list-style-type: none"> ・1名は出来ている（以前の暮らし方10個以上）・10個以上の把握は出来ていなくても大まかな以前の暮らし方は把握できている。職員同士よくコミュニケーションが取れていると思う。職員とのコミュニケーションの中で話し合い、いい所や問題など気付きあえる。体調の変化、様子について職員間での情報共有が出来ている。 ・内部会議の時に状況など言語化している。本人の気持ちや体調の変化など、連絡ノートでその都度共有している。本人の状況に合わせた介助を日々臨機応変に行っている。 ・本人の気持ちなど聞き取りが出来た際には連絡ノートに記入し、情報の共有を行っている。ケアマネの話や連絡ノート等で変化・変更等の情報が共有出来ている。事業所会議や連絡ノートを十分に活用し、また即時的には口頭で共有してふさわしい生活支援を行えている。情報共有した時点で即自的に対応支援を行っている。健康状態などを把握し、食事形態や1日の過ごし方を考慮している。基礎的な介護は状況に合わせて出来ている。利用者との話の中でも問題点を見つける様心掛けている。ご本人の状況に合わせた食事・入浴等は良く出来ている。 ・対応の統一が出来ている。ご本人の状況や環境について職員に伝えるようにしている。
--------	--

できていない点	<ul style="list-style-type: none"> ・以前の暮らしについて、会話ではなく個人ファイルから情報収集出来ていない。利用者の以前の暮らしなどは個人ファイルを見ないとわからない。ミーティング、会議内で本人の代弁ができていない。以前の暮らしがわかる時とわからない時がある。以前の暮らし方はある程度把握しているが、10個以上となると出来ていない。ご利用者全員の担当者会議出席は出来ていない。具体的な希望が出てこないご利用者は気持ちの変化に対応出来ていない。担当者会議の呼びかけや確認を担当職員にしきれていない。
---------	---

なぜ？どうして？できていないのか？（その理由）	<ul style="list-style-type: none"> ・会話内での聞き取りにとどまり、個人ファイルを開いていない。利用者の情報を得る為に個人ファイルを見る意識が出来ていない。意識が薄い。会議前にご本人の気持ちについて整理出来ていない（会議前の準備が不足している） ・認知症もあり、話が違ったりするのに真に受けてしまう。担当者会議出席が出来ていないのは日常業務が優先される為。出勤日数が少ない為、担当者会議に出席できていない。担当者会議に出席する時間がとりにくい。日程が合わなかった。前回の改善計画での目標についての意識が職員個人々低かった。担当者会議に参加をしてもご利用者との話し合いで直接希望を聞けるのも少ないように感じる。
-------------------------	---

スー③

スタッフ個別評価・様式

実施日 平成 29 年 10 月 19 日

4. 地域での暮らしの支援

氏名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

前回の改善計画	<p>・ご利用者との会話に地域の話を取り入れる事を心がけ、近隣との関係性や以前地域でどんな役割を持っていたかの情報を得る。 ケアプランからもご利用者の情報を得る。ケアマネはケアプランを更新したら、連絡帳で職員に知らせる。</p>
---------	--

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
①	前回の課題について取り組みましたか？	0	7	6	0

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？	0	9	6	0
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？	0	6	7	0
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？	0	6	8	1
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？	0	1	11	3

できている点	<p>ご利用者との会話や、職員同士の話から一休以外での過ごし方などを理解している。ケアプランや連絡帳を見て確認することで大体大まかに理解出来ている。会話を通して何度も出てくる事柄を話題に取り入れ同調する。利用者との会話から一休で楽しく安心して過ごすためにはどのようなしたらよいか考える努力はしている。個人ファイルを確認して介護を受ける以前の近隣との関わり方などを理解している。フェイスシートを読んでいる。ケアプランが更新された場合、連絡帳への記入は出来ている。本人の自宅での生活スタイルや家族との関係は普段のコミュニケーションにより理解し、適所にあったサービスを行えている。訪問時のコミュニケーションは図れている。支援して下さっている民生委員さんにご挨拶を受ける為、把握できている。近隣の方への挨拶は行えている。</p>
--------	--

できていない点	<p>地域の民生委員の役割は把握しきれていない。近隣の関係性や地域での役割をどのようにしていたかは家族からの情報を得られない。家族・介護者・地域との関係が切れないような支援、特に地域との関係についてどのように支援してよいかわからず、伝えていない。家族と同居している利用者の家での様子がよくわからない人がいる。会話が難しいご利用者は家族から意見が聞けず、また家族との交流もない。訪問した際、近隣の方などから最近の様子など聞かれる事があるが、個人情報保護法がある為気安く答えられずパイプ役になれない。事業所が関わらない間の生活は把握できていない。民生委員や地域の資源について勉強不足。会話が地域の話にならない。子供の頃の話はスムーズに出来るが、青年期のことになると会話が弾まず、近隣との関係性を知る事が出来ていない。民生委員さんがどういう地域区分で何人いるのか把握できていない。地域近隣との関係や直接接していない時間があり、あまり把握していない。地域やその他インフォーマルの資源の活用が出来ていない。本人・家族・地域を繋げるような支援が出来ず事業所だけの支援になっている。</p>
---------	--

なぜ？どうして？できていないのか？（その理由）	<p>ご利用者の生活の背景にまで考えがおよんでいない。ご利用者本人があまり過去の事を覚えていなかったり、家族とのコミュニケーション不足がある。家族に送迎時以外会う事も少ないし、会っても本音は聞きづらい。担当者会議への参加が必要と思われるが、業務の都合で参加する事ができない。社会環境が変化し、周りとの関係性が希薄になった。近隣の方に挨拶はするが、地域の交流などが無い。どの様に地域と関わ</p>
-------------------------	---

ているのか、近所の方の名前や顔も把握できていない。地域との交流などの機会があれば今後積極的に参加していきたい。ケアマネや主任に任せている。年度が変わると民生委員さん、自治会長さん変わると思うがどうなっているのか？名簿になっていない。仕事が利用者直接支援の為、時間外はあまり支援出来ていなかった。インフォーマルな資源の把握がしきれていない。民生委員やこの地区の資源を理解出来ていない。周辺環境の把握もしきれていない。本人の生活が民生委員や地域の資源と結びつかない時がある。

5. 多機能性ある柔軟な支援

氏名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

前回の改善計画

- ・ご利用者の好きな事、やりたい事を把握して、一緒にして頂けるような近隣のボランティアを呼び掛ける。
- ・ケアプランや連絡帳にてニーズの把握をし、その時々で柔軟な支援を行う。

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
①	前回の課題について取り組みましたか？	1	1 0	1	1

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	0	7	6	1
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	1	1 3	0	0
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか？	1	1 3	0	0
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	2	1 2	0	0

できている点

・ボランティアさんに定期的にご協力頂いている。ボランティアさんの活用は出来ている。普段のコミュニケーションにより、本人の変化に対する気づき、柔軟な対応は出来ている。気づいたところは報告し、共有している。ご利用者に変化があった場合、連絡帳に記入されていて情報共有している。連絡帳を通して日々の利用者のニーズに合わせて支援している。職員間の連絡ノートを常に確認し、不安や疑問等あれば即座に職員間で確認しあっている。本人の様子に変化があると思った時にはケアマネに報告したり、質問したりしてその時に適切な支援が出来るよう心掛けている。ご利用者・家族の状況に応じた通い・訪問・泊まりの対応が出来ている。小規模多機能の役割を考え、計画にあるサービスだけでなく、状況の変化に対し、柔軟な対応が出来ていると思う。(ご家族・ご本人の体調の変化がある時等)・近隣の社会資源(学校・幼稚園)との関わりが出来ていないので今後交流が有ればと思う。

できていない点

・近隣のボランティアを呼びかける事は出来ていない。ボランティアの参加が少ない。地域資源の利用がない。活用できていない。地域の資源に何があるか理解していない。地域の資源が良く分かっていない。地域との関わりが少なく、近隣のボランティアも長続きせず少ない。

なぜ？ どうして？ できていないのか？ (その理由)

日常業務優先の為。勉強不足。ボランティアが訪問してくれても利用できる人が少なくなっている。地域の資源、近隣のボランティアの把握が出来ていない為、支援に繋がっていない。連絡ノートに利用者の事は書いてるが、お祭りなどの行事に参加している時の様子等は一緒に行かないとわからない。もっと気軽に地域と関わり、ご利用者と地域をもっと馴染み深いものにする必要がある。

スタッフ個別評価・様式

実施日 平成 29 年 10 月 19 日

6. 連携・協働

氏名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の子供を対象とした10月のハロウィーンを恒例イベントにし、担当を中心に職員一丸となって取り組む。 ・運営推進会議に職員が1人1回は参加する。事業所の事を知ってもらうため、出席された事のない地域の方にも声をかけて運営推進会議に参加して頂く。
---------	---

個人チェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない
①	前回の課題について取り組みましたか？	0	6	6	1

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	0	3	2	7
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	0	3	3	7
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	0	5	4	5
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	0	5	6	4

できている点	<p>ハロウィンに関しては月の担当が軸となり計画し、他の職員も相談の上イベント企画に参加している。昨年のハロウィンに続き、本年も地域の方の協力の下取り組む予定。地域住民にはハロウィンで事業所を開放し知って頂く事が出来た。ハロウィンを行った事で地域の方に来て頂き、交流がはかれた。地域の子供を対象とするハロウィンイベントは昨年初めて実施し、50人くらいの子供が訪れ、ご利用者と触れ合えたことは有意義だった。日常同じことの繰り返しなので行事としてはとても刺激があり、元気になる源だと思う。桜祭り等、自治会・町内会のイベント、清掃には参加出来ている。地域の祭りに参加している。自治会、地域の防災訓練に参加し、地域の方々とお話しする機会があった。地域の会議（運営推進会議）に出席する事が出来た。サービス関係機関等の調整会議はなんとか出来ている。</p>
--------	--

できていない点	<p>地域の会議への参加が出来ていない。自治会等の会議や活動に参加する機会が少ない。他のサービス機関との会議や地域の活動やイベントに参加していない。全部。運営推進会議への出席については職員全員となると難しい。パートなので地域等の会議に出席する事が無い。地域住民が事業所に訪れる事は殆ど無いが、収穫した物品を頂く事はある。主任やケアマネ以外ほぼ参加の機会がない。地域やその他の会議等の参加に積極的に動けるようにしていきたい。</p>
---------	---

なぜ？どうして？できていないのか？（その理由）	<p>日常業務優先の為。他サービス機関の会議は日程が合わない為参加できていない。地域の活動やイベントは主任やケアマネに任せている為。今後積極的に参加出来ればと思う。運営推進会議に職員全員となると、会議の都度2～3人出席しないと達成しない。サービス機関との関係はケアマネが中心に行っている為、ワーカーは必要性に応じ、ケアマネを通してコミュニケーションを図っている。事業所が閉鎖的である。日々の業務に追われている為。</p>
-------------------------	--

◆前回の改善計画に対する取組み状況

前回の改善計画	*喫茶ひとやすみについて
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方へのアピールも必要だが、まず、利用者の家族に来所してもらえるよう働きかける。 ・喫茶の内容はその日のレク担当が決める。 ・一休だよりに喫茶ひとやすみのコーナーを設けて、毎月、日時と内容を告知する。 	

個人チェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない
①	前回の課題について取り組みましたか？	0	2	10	3

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか？	0	10	3	2
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	0	11	3	1
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	0	8	4	2
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか？	0	5	7	3

できている点	<p>出向き先で家族の要望等来たときは事業所のケアマネや主任に伝えるようにしている。・内部会議の時に自分の思ったことは伝える様にしている。ご利用者と常にコミュニケーションを取り、家族にも送迎時に意見を伺い、ケアマネや責任者に報告出来ている。一休だよりで喫茶ひとやすみの日程をお知らせしている。喫茶当日に一休玄関に喫茶の旗を出している。ご家族からの意見や苦情などすぐに柔軟に受け入れ運営に反映し、よくなっていると思う。ハロウィン・防災訓練・自治会催しなど地域の必要な行事に参加協力し、地域と協働していると感じる。近所の方との挨拶は出来ていてもそれ以上に進まない。自治会主催の催しなど意識し、参加出来る様考えている。運営推進会議にての関わりに留まっていると思う。</p>
--------	---

できていない点	<p>地域の事がよくわかっていない。地域との交流が少ない為、色々な意見を聞く事ができない。喫茶の日に特別なレクを用意出来ていない。ご利用者家族に来所してもらえるよう働きかけができていない。自宅に伺ったり、家族と話が出来ていない。喫茶の改善が出来ていない。地域の方からの意見・苦情は積極的に反映出来ていない。月のレク担当の中で喫茶の内容検討を行っていない。利用者家族が一休に訪れる事はない。喫茶が具体的に何をやるか等の意見がなく、他の行事に比べ意識が薄い。積極的な働きかけは出来ていない。必要とされる地域拠点に全くなっていない。事業所のあり方について意見を求められれば答えるが、自分から意見をいう事は無い。</p>
---------	--

なぜ？どうして？できていないのか？（その理由）	<p>パートなので地域に出でいくことが少ない。気軽に事業所に訪れる方が少ない。ボランティアの方々以外、交流が少ない。考えなければいけない行事が多い為、喫茶は意識が薄くなっている。喫茶が月の行事の一つである認識が薄い。もっと月の行事として計画していかないと難しいと思う。働きかけが弱い。*改善計画として「外のお知らせ掲示板に喫茶ひとやすみのお知らせを貼る」 毎月一休だよりに喫茶の日時・内容を告知しているが、家族が見ているかわからない（日にちが近くなったら連絡帳にも書いてみてはどうか？）居室のスペースを考えると、5名が限度と考えられる。毎月一部の方に声掛けする等、声かけのポイントを絞ると効果的に実行できる可能性がある。喫茶ひとやすみの行事を担当した事がない為よく理解出来てい</p>
-------------------------	--

ない。(自分から意見を言わない理由として) 主任に任せているから。

スタッフ個別評価・様式

実施日 平成 29 年 11 月 16 日

8. 質を向上するための取組み

氏名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none"> ・常勤に向けて行きたい研修内容のアンケートを取って、職員に合った職場外研修を計画的に受講する。 ・パート職員については、市内の小規模多機能居宅介護事業所へ年に1回は研修に行く。 ・リスクマネジメントについての職場内研修を年に1回行う。当日参加出来ない職員には資料を配布する。

個人チェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
① 前回の課題について取り組みましたか？	1	4	7	3

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
① 研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	0	6	5	4
② 資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	0	3	3	9
③ 地域連絡会に参加していますか	0	2	2	10
④ リスクマネジメントに取り組んでいますか	0	11	2	2

できている点
<p>希望の研修への参加。内部会議の際、スクママネジメント等の内部研修に参加している。レクリエーションに関わる研修に参加でき、勉強になった。外部研修に参加出来ている。元気な会議においてリスクマネジメントは比較的遅い時間に行われている参加出来ている。リスクマネジメントの資料を見た。利用者に対して病気の媒介者にならないよう、自己管理を行い施設に出入りする時はうがい・手洗いを心掛けている。決まったことは出来ている。外部の研修は業務に支障が出ない程度に参加出来ている。毎月内部会議の中でリスクの時間を設けている。内部研修でもリスク「危険予知」を行った。自分のスキルアップの研修等は回数は少ないが行えている。</p>

できていない点
<p>小規模多機能型居宅介護事業所の他所の見学等行けなかった。外部研修に参加していない。内部研修は早い時間に行われている為、中遅と遅番の職員は参加できない。新たに研修に行く意欲がわかずにいる。内部会議の中で「ヒヤリハットが減り事故が増えていると聞き、その通りだと思った。事故を未然に防げるためにも今後は気付いた事はどんどん上げていこうと思う。今年度アンケートをとっていない。外部研修を全く受けていない職員がいる。内部研修は出来ているが、他は出来ていないと思う。地域連絡会への参加。</p>

なぜ？ どうして？ できていないのか？（その理由）
<p>時間的に難しかったり、パートとしてどこまで参加して良いのかと思うと消極的になってしまう。研修は都合が合わなくて参加できない。研修に参加した事がない。丁度良いタイミングで適した研修がない。（地域連絡会への参加は）CMや主任に任せている。</p>

スタッフ個別評価・様式

実施日 平成 29 年 11 月 16 日

9. 人権・プライバシー

氏名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

前回の改善計画	
<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者に関する状態報告を口頭でする場合は、ご利用者が居ない場所または聞こえない場所で行う。 ・ご利用者に関する状態報告を早急に行う必要がある場合（排泄の有無など）の為に、毎日白紙を用意して必要時記入することとする。 ・身体拘束や虐待防止、プライバシーや個人情報の管理についての職場内研修を1年に1回受講する。 	

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
①	前回の課題について取り組みましたか？	0	8	6	1

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
①	身体拘束をしていない	1	14	0	0
②	虐待は行われていない	9	6	0	0
③	プライバシーが守られている	0	11	4	0
④	必要な方に成年後見制度を活用している	0	2	2	4
⑤	適正な個人情報の管理ができています	0	11	4	0

できている点
<p>ご利用者第一に考え、常に相手の身になって接して居るので出来ている。一部の利用者に関する状況報告（排泄の有無等）は用紙で記録している。状況報告に必要な白紙を用意している。メモ用紙を活用している。夜勤者と日勤のリーダー間の報告は聞こえない場所で出来ている。トイレの声かけは周りに聞こえないように耳元で伝えるようにしている。人権を尊重し、対人関係を築きながら携わっている。利用者のいる場では他利用者の名前を控える等意識をしている。利用者への声かけ・言葉使い・身体介助等丁寧にやるようにいつも心掛けている。身体拘束や虐待は介護計画基準に基づき介護している。虐待は行っていない。拘束を行った方が利用者への危険を回避出来る事も多々あるが、拘束以外の方法で対応している。</p>

できていない点
<p>気を付けてはいるが、狭い空間の中で口頭で報告すると他のご利用者に聞こえてしまい、個人情報が漏れてしまう事がある。口頭での状態報告をご利用者の前や聞こえる場所で行ってしまっている。状況報告を口頭で行う場合、台所などでこっそり行う事が多い。昼食休憩中行う事もあるが、緊急の場合間に合わない。利用者の状態報告等はあまり場所を考えて行っているとは思えない。職員同士の会話（無駄話）が多すぎる。歩行不安定で立ち上がりの多いご利用者にお話をしても、すぐに立ち上がってしまう為「ちょっと待って下さい」と制止することがある。明らかな身体拘束はないが、言葉の拘束はあるように思う。研修などの受講。④について活用の仕方が分かっていない。プライバシーは守られていない。一応ご利用者には分からないよう大・小などの様に伝えているが白紙での伝達は行っていない。</p>

なぜ？どうして？できていないのか？（その理由）
<p>施設が全体的に狭い。ご利用者が多い時は和室・リビングに密集した状態で聞こえない所に行くのが難しい面がある。日中より早く報告しようという気持ちからリビングで報告してしまっている。通常リーダーなどに報告する場合、リーダーを事務室に呼んで報告するゆとりがない。（2人とも席を外すと日常業務ができ</p>

ない。室内にいる人にまとめて報告する場合、台所や昼食休憩中しかない。台所で報告すると他のご利用者が気にされるが、場所を変えて報告するにも席を外すと立ち上がりの多い方がいる為、職員が足りなくなる。都合が合わない為研修などの受講ができない。プライバシー保護についての意識が薄い（一休に該当するケースのプライバシー保護について勉強会をしてもいい）今の状況に慣れてしまっていて意識をしていないと思う。毎年良くなってはいる。改善も見受けられるが、まだ報告を口頭で行う事が多い。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 9 月 21 日 (19 : 40～20 : 00)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 大畑、稲橋、佐藤、中谷、上田、越村、前野、高辻、高橋、尾下

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	11人	0人	0人	13人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none">新規ご利用者についての情報は、ケアマネジャーが作成したアセスメントシートを全職員に配布して、利用開始前に職員が目を通して状況を把握する。利用開始後については、どの職員もご利用者との関わりから得た情報や気づきを記録や職員間の連絡ノートに残し、全職員が連絡ノートに目を通すことを徹底し、情報共有をする。
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none">アセスメントシートは利用開始前に配布し、職員が目を通す事は出来ている。利用開始後得た情報や気づきを連絡ノートに記入することは出来ていない職員もいる。その場で口頭での引継ぎに終わってしまっている時がある。急な利用の時はアセスメントシートのみでの連絡ノートの確認は殆どの職員が出来ている。連絡ノート以外にも情報共有の為の書式を用意した方が良いという意見もあったが、以前別の書式があった時に活用出来なかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	2人	12人	0人	0人	14人
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	0人	14人	0人	0人	14人
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	2人	12人	0人	0人	14人
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	1人	13人	0人	0人	14人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	新規ご利用者の情報は事前に配布されたアセスメントシートに目を通して理解出来ている。事前の会議でミーティングを行い、ケアマネからの情報を自分なりにまとめている。気づきや変更などは関わった職員が連絡ノートに細かく記載している。出勤職員は朝必ず連絡ノートを確認し、情報を共有している。新規の方とは特に積極的にコミュニケーションをとり、送迎時にご家族に話かけて直面の課題や、隠れた課題を把握しようと心掛けている。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	急な利用などミーティングの時間が取れずに利用開始となる場合に書面での情報共有にも限界があるように感じる。新しく得た情報をノートに記入せず、当日出勤の職員との口頭のやり取りで終わってしまう事がある。その為に統一した支援が行えていないと感じる時がある。連絡ノートの情報が業務連絡、利用者情報全て一緒に書かれている為、わかりにくい。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	<ul style="list-style-type: none">新規ご利用者についての情報は、ケアマネジャーが作成したアセスメントシートを全職員に配布して、利用開始前に職員が目を通して状況を把握する。利用開始後は、どの職員もご利用者との関わりから得た情報や気づきを職員間の連絡ノートに記入し共有する。連絡ノートは必要な情報を簡潔に記入し、重要な部分はマーカーを引き強調する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 9 月 21 日 (20 : 00 ~ 20 : 15)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 大畑、稲橋、佐藤、中谷、上田、越村、前野、高辻、高橋、尾下

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	6人	6人	0人	12人

前回の改善計画

- 各職員が受け持つ担当ご利用者を常に意識し、特に積極的にコミュニケーションを図りながら、ご利用者の「～したい」という言動を見逃さずに記録に残す。
- 「～したい」という担当利用者の希望を直接聞けなくとも、ケアマネ訪問時にご本人や家族に聞いてもらうなどして実現できるよう担当ご利用者とはケアマネジャーが話し合いケアプランに反映させる。

前回の改善計画に対する取組み結果

担当ご利用者とは特に積極的にコミュニケーションを図るようにしている。誕生日カードを担当職員が作成するようになり、担当の意識が高まった。本人の好きなことや家族との関わりの情報が不足している。「～したい」を聞き出しても個別に対応をしてよいのか考えてしまう。「～したい」という希望を聞いていても日々の業務に追われ実現できていない。全員に対して分け隔てなく接したいという気持ちがある。2名の職員で4名ほどの利用者とはより深くコミュニケーションをとることで、希望を実現し易くなる。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	0人	7人	6人	0人	13人
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	0人	4人	7人	0人	11人
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0人	5人	8人	0人	13人
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	0人	3人	10人	0人	13人

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- 担当する利用者に関しては個人ファイルを確認している。担当ご利用者だと言う意識を持ち接している。当面の目標はケアマネ等から情報を得て共有出来ている。通い利用の際、やりたい事・やっていきたい事の聞き取りをするよう心掛けている。担当職員2人で担当する利用者のケアについて話をしている。最終的にどうなりたいかを本人に聞くなど積極的にコミュニケーションを図る事は出来ている。担当ご利用者の意識は、担当ご利用者とは将棋を行ったり、お話をして少し多くコミュニケーションをとるようにしている。

できていない点

- 会議内のミーティングで担当ご利用者との関わりの発言が出来ていない。担当ご利用者に対しての意識をつい忘れがちになる。ゴールはあまり分かっていない。ご利用者の目的に沿ったことが出来ているか疑問。「～したい」を聞き出しても個別に対応するのはどうかという意見が出たので考えてしまう。全員に対して平等に関わっている為、担当ご利用者を常に意識する事ができていない。ご利用者からしたい事の聞き取りは行っているが実現には至っていない。プランへ反映できていない。家族との関わりやコミュニケーションがあまり取れていない。個別支援などの検討が十分出来ているかは今後の課題。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- 各職員が受け持つ担当ご利用者を常に意識し、特に積極的にコミュニケーションを図りながら、ご利用者の「～したい」という言動を見逃さずに記録に残す。
- 担当職員のみで考えず、得た情報をもとに職員全員で協力し、「～したい」を実現していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 9 月 21 日 (20 : 15 ~ 20 : 30)

3. 日常生活の支援

メンバー 大畑、稲橋、佐藤、中谷、上田、越村、前野、高辻、高橋、尾下

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	8 人	3 人	1 人	12 人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者担当制を前年以上に活性化させる為、職員は担当利用者のサービス担当者会議の日程を把握するよう努め、年度内で 1 回は参加し、直接ご家族と話をしたり、自宅での環境を実際に見る機会を設ける。 ・担当者会議に出席できなくとも、ケアマネや出席した職員から情報を得るよう努める。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・業務の関係で担当者会議になかなか参加できないが、送迎時に家族と話をしよう心掛けている。ケアマネや他の職員から話を聞き直近の情報を得るようにしている。ミーティングに参加し、連絡ノートを読むことで情報の共有は出来ている。以前の暮らしや生活環境を理解出来ている人と、理解出来ていない人がいる。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が 10 個以上把握できていますか?	人	5 人	9 人	0 人	14 人
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	2 人	11 人	人	0 人	13 人
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	0 人	8 人	5 人	0 人	13 人
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	2 人	11 人	0 人	0 人	13 人
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	1 人	12 人	0 人	0 人	13 人

できている点	<ul style="list-style-type: none"> ・10 個以上の把握は出来ていなくても大まかな以前の暮らし方は把握できている。体調の変化、様子について職員間での情報共有が出来ている。本人の状況に合わせた介助を日々臨機応変に行っている。本人の気持ちなど聞き取りが出来た際には連絡ノートに記入し、情報の共有を行っている。事業所会議や連絡ノートを十分に活用し、また即時的には口頭で共有してふさわしい生活支援を行えている。健康状態などを把握し、食事形態や 1 日の過ごし方を考慮している。利用者との話の中でも問題点を見つける様心掛けている。対応の統一が出来ている。
--------	--

できていない点	<ul style="list-style-type: none"> ・以前の暮らしについて、会話ではなく個人ファイルから情報収集出来ていない。利用者の以前の暮らしなどは個人ファイルを見ないとわからない。ミーティング、会議内で本人の代弁ができていない。以前の暮らしがわかる時とわからない時がある。以前の暮らし方はある程度把握しているが、10 個以上となると出来ていない。ご利用者全員の担当者会議出席は出来ていない。具体的な希望が出てこないご利用者は気持ちの変化に対応出来ていない。担当者会議の呼びかけや確認を担当職員にしきれていない。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の以前の暮らしや家族との関わりなどの情報を個人ファイルで確認する。 ・担当者会議に出席できなくとも、ケアマネや出席した職員から情報を得るよう努める。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年月日 (20 : 25~20 : 40)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 大畑、稲橋、佐藤、上田、尾下、中谷、田上、越村、内

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	7人	6人	0人	13人

前回の改善計画	<p>・ご利用者との会話に地域の問題を取り入れる事を心がけ、近隣との関係性や以前地域でどんな役割を持っていたかの情報を得る。 ケアプランからもご利用者の情報を得る。ケアマネはケアプランを更新したら、連絡帳で職員に知らせる。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>情報を得やすい方とそうでない方がいるが、以前の暮らしや地域での役割などを知るのは本人との会話以外に個人ファイルを確認すると良い。ケアプランに沿った対応は必要だが、直近の情報は職員間の連絡ノートや口頭でのやり取りが重要になっている。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	0人	9人	6人	0人	15人
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れなないように支援していますか?	0人	6人	7人	1人	14人
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0人	6人	8人	1人	15人
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0人	1人	11人	3人	15人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>ご利用者との会話や、職員同士の話から一休以外での過ごし方などを理解している。ケアプランや連絡帳を見て確認することで大体大まかに理解出来ている。個人ファイルを確認して介護を受ける以前の近隣との関わり方などを理解している。フェイスシートを読んでいる。ケアプランが更新された場合、連絡帳への記入は出来ている。本人の自宅での生活スタイルや家族との関係は訪問時や普段のコミュニケーションにより理解し、適所にあったサービスを行えている。一部の民生委員さんは把握できている。近隣の方への挨拶は行えている。</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>家族・介護者・地域との関係が切れなような支援、特に地域との関係についてどのように支援してよいかわからず、伝えていない。地域やその他インフォーマルの資源の活用が出来ていない。事業所だけの支援になっている。自宅での様子がよくわからない人がいる。会話が難しいご利用者は家族から意見が聞けず、また家族との交流もない。訪問した際、近隣の方などから本人の様子を聞かれるが、個人情報保護法がある為気安くパイプ役になれない。民生委員や地域の資源について勉強不足。子供の頃の話はスムーズに出来るが、青年期のことになると会話が弾まず、近隣との関係性を知る事が出来ていない。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> 個人ファイルから家族や地域との繋がりなどの情報を得る。 ご利用者との会話に地域の問題を取り入れる事を心掛け、支援に繋げていく。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 1 月 25 日 (20 : 40~20 : 55)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 大畑、稲橋、佐藤、上田、尾下、中谷、田上、越村、内

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	1 0 人	1 人	1 人	1 3 人

前回の改善計画

- ・ご利用者の好きな事、やりたい事を把握して、一緒にして頂けるような近隣のボランティアを呼び掛ける。
- ・ケアプランや連絡帳にてニーズの把握をし、その時々で柔軟な支援を行う。

前回の改善計画に対する取組み結果

・ボランティアは来てもらっているが、足りない。来てもらっても長続きしない。地域の資源の活用としても新たにボランティアさんに来てもらえると良いと思う。ケアプランやご家族からの連絡帳、口頭でのやり取りでニーズの把握は出来ている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	0 人	7 人	6 人	1 人	1 4 人
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	1 人	1 3 人	0 人	0 人	1 4 人
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	1 人	1 3 人	0 人	0 人	1 4 人
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	2 人	1 2 人	0 人	0 人	1 4 人

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・ボランティアさんに定期的にご協力頂いている。普段のコミュニケーションにより、本人の変化に対する気づき、柔軟な対応は出来ている。職員間の連絡ノートを常に確認し、不安や疑問等あれば即座に職員間で確認しあっている。本人の様子に変化があると思った時にはケアマネに報告したり、質問したりしてその時に適切な支援が出来るよう心掛けている。ご利用者・家族の状況に応じた通い・訪問・泊まりの対応が出来ている。小規模多機能の役割を考え、計画にあるサービスだけでなく、状況の変化に対し、柔軟な対応が出来ていると思う。(ご家族・ご本人の体調の変化がある時等)

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

・近隣のボランティアを呼びかける事は出来ていない。ボランティアの参加が少ない。地域資源の利用がない。活用できていない。地域の資源に何があるか理解していない。地域の資源が良く分かっていない。地域との関わりが少なく、近隣のボランティアも長続きせず少ない。近隣の社会資源(学校・幼稚園)との関わりが出来ていないので今後交流が有ればと思う。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

- ・ご利用者の好きな事、やりたい事を把握して、一緒にして頂けるような近隣のボランティアをホームページや掲示板を活用し、呼び掛ける。
- ・ケアプランや連絡帳にてニーズの把握をし、その時々で柔軟な支援を行う。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 1 月 25 日 (20 : 55～21 : 05)

6. 連携・協働

メンバー 大畑、稲橋、佐藤、上田、尾下、中谷、田上、越村、内

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	6人	6人	1人	13人

前回の改善計画

- ・地域の子供を対象とした10月のハロウィンを恒例イベントにし、担当を中心に職員一丸となって取り組む。
- ・運営推進会議に職員が1人1回は参加する。事業所の事を知ってもらうため、出席された事のない地域の方にも声をかけて運営推進会議に参加して頂く。

前回の改善計画に対する取組み結果

ハロウィンに関しては、恒例イベントとして月の担当職員が軸となり計画している。普段事業所は閉鎖的になってしまいがちなので利用者にとって、とても刺激になる行事。地域の会議に出席できていない。出席された事のない地域の方に声掛け出来ていない。普段の業務が優先になる為、地域の活動やイベントは主任やケアマネに任せている。事前に活動やイベントの予定がわかると出席しやすい。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?	0人	3人	2人	7人	12人
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	0人	3人	3人	7人	13人
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?	0人	5人	4人	5人	14人
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	0人	5人	6人	4人	15人

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

ハロウィンに関しては月の担当が軸となり計画し、他の職員も相談の上イベント企画に参加している。昨年のハロウィンに続き、本年も地域の方の協力の下取り組む予定。ハロウィンイベントは昨年初めて実施し、50人くらいの子供が訪れ、ご利用者と触れ合えたことは有意義だった。日常同じことの繰り返しなので行事としてはとても刺激があり、元気になる源だと思う。桜祭り等、自治会・町内会のイベント、清掃には参加出来ている。自治会、地域の防災訓練に参加し、地域の方々とお話する機会があった。地域の会議 (運営推進会議) に出席する事が出来た。サービス関係機関等の調整会議はなんとか出来ている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

地域の会議への参加が出来ていない。自治会等の会議や活動に参加する機会が少ない。他のサービス機関との会議や地域の活動やイベントに参加していない。全部。運営推進会議への出席については職員全員となると難しい。パートなので地域等の会議に出席する事が無い。地域住民が事業所に訪れる事は殆ど無いが、収穫した物品を頂く事はある。主任やケアマネ以外ほぼ参加の機会が無い。地域やその他の会議等の参加に積極的に動けるようにしていきたい。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- ・恒例イベントのハロウィンでは、子供と利用者が楽しみながら交流出来るような企画を用意する。
- ・運営推進会議には出席していないワーカーが毎回一人ずつ参加する。
- ・地域の活動やイベントは事前に日程を把握して積極的に参加する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 11 月 16 日 (19 : 10 ~ 19 : 35)

7. 運営

メンバー 大畑・稲橋・佐藤・上田・尾下・中谷・中野・高辻・越村・小松

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	2人	10人	3人	15人

前回の改善計画	*喫茶ひとやすみについて
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方へのアピールも必要だが、まず、利用者の家族に来所してもらえるよう働きかける。 ・喫茶の内容はその日のレク担当が決める。 ・一休だよりに喫茶ひとやすみのコーナーを設けて、毎月、日時と内容を告知する。 	
前回の改善計画に対する取組み結果	
<p>喫茶のアピールが足りない。一休だよりに喫茶ひとやすみのコーナーを設けて毎月内容と日時を告知している。当日喫茶の旗を出している。一休だよりに載せても家族が見ているかわからない。レク担当の中で喫茶の認識が薄い。特別なレクを用意できていない。外の掲示板で告知をしてはどうか。</p>	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているですか?	0人	10人	3人	2人	15人
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0人	11人	3人	1人	15人
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0人	8人	4人	2人	14人
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	0人	5人	7人	3人	15人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>出向き先で家族の要望等来たときは事業所のケアマネや主任に伝えるようにしている。内部会議の時に自分の思ったことは伝える様にしている。一休だよりで喫茶ひとやすみの日程をお知らせしている。喫茶当日に一休玄関に喫茶の旗を出している。ご家族からの意見や苦情などすぐに柔軟に受け入れ運営に反映し、よくなっていると思う。ハロウィン・防災訓練・自治会催しなど地域の必要な行事に参加協力し、地域と協働していると感じる。近所の方との挨拶は出来ていてもそれ以上に進まない。自治会主催の催しなど意識し、参加出来る様考えている。</p>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>地域の事がよくわかっていない。地域との交流が少ない為、色々な意見を聞く事ができない。月のレク担当の中で喫茶の内容検討を行っていない。喫茶の日に特別なレクを用意出来ていない。喫茶が具体的に何をやるか等の意見がなく、他の行事に比べ意識が薄い。積極的な働きかけは出来ていない。地域の方からの意見・苦情は積極的に反映出来ていない。必要とされる地域拠点に全くなっていない。運営推進会議にての関わりに留まっていると思う。事業所のあり方について自分から意見をいう事は無い。認知症カフェ等地域と協働した取組みを行っているが、多くの職員が関わる事が出来ず内容の周知も十分に出来ていない。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・毎月 19 日の喫茶ひとやすみは、手作りのおやつと喫茶の雰囲気を楽しんで頂くことから始め、外部から人を呼べる体制を作る。外の掲示板に喫茶の告知を出す。 ・地域の活動・取組みには、なるべく色々な職員が積極的に関わるようにする。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 11 月 16 日 (19 : 35～20 : 00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 大畑・稲橋・佐藤・上田・尾下・中谷・中野・高辻・越村・小松

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	4人	7人	3人	15人

前回の改善計画	
・常勤職員に向けて、行きたい研修内容のアンケートを取って、職員に合った職場外研修を計画的に受講する。 ・パート職員については、市内の小規模多機能型居宅介護事業所への見学を年に1回程度実施する。 ・リスクマネジメントについての職場内研修を年に1回行う。	
前回の改善計画に対する取組み結果	
今年度の行きたい研修のアンケートはとっていないが、適した内容の研修を見つけると本人に打診している。小規模連絡会で交換研修を予定しているが、双方での調整がついていない。リスクマネジメントについての研修は実施出来ている。	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	0人	6人	5人	4人	15人
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	0人	3人	3人	9人	15人
③	地域連絡会に参加していますか	0人	2人	2人	10人	14人
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	0人	11人	2人	2人	15人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	希望の研修への参加。内部会議の際、スクマネジメント等の内部研修に参加している。レクリエーションに関わる研修に参加でき、勉強になった。元気な会議においてリスクマネジメントは比較的遅い時間に行われている参加出来ている。リスクマネジメントの資料を見た。利用者に対して病気の媒介者にならないよう、自己管理を行い施設に出入りする時はうがい・手洗いを心掛けています。決まったことは出来ている。外部の研修は業務に支障が出ない程度に参加出来ている。毎月内部会議の中でリスクの時間を設けている。内部研修でもリスク「危険予知」を行った。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	小規模多機能型居宅介護事業所の他所の見学等行けなかった。外部研修を全く受けていない職員がいる。内部研修は早い時間に行われている為、中遅と遅番の職員は参加できない。新たに研修に行く意欲がわかっていない。内部会議の中で「ヒヤリハットが減り事故が増えていると聞き、その通りだと思った。事故を未然に防げるためにも今後は気付いた事はどんどん上げていこうと思う。今年度アンケートをとっていない。内部研修は出来ているが、他は出来ていないと思う。地域連絡会への参加。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	・市内の小規模への見学は月1回短時間で行けるよう業務の中に組み込む。 ・リスクマネジメントの職場内研修を年に1回行う。 ・多くの職員が参加できるよう、内部研修の時間を調整する。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 28 年 1 月 30 日 (20 : 00 ~ 20 : 25)
9. 人権・プライバシー	メンバー	大畑・稲橋・佐藤・上田・尾下・中谷・中野・高辻・越村・小松

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	8 人	6 人	1 人	15 人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者に関する状態報告を口頭でする場合はご利用者がいない場所（廊下や和室）で行う。 ・ご利用者に関する状態報告を早急に行う必要がある場合（排泄の有無など）の為に、毎日白紙を用意して必要時記入することとする。 ・身体拘束や虐待防止、プライバシーや個人情報の管理についての職場内研修を 1 年に 1 回実施。
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>状態報告を利用者がいない・聞こえない場所で行う意識付けは出来ているが、完全に離れてしまうと見守りの職員が足りない時がある。状態報告に白紙を利用することはあるが、口頭のみが多い。身体拘束やプライバシー等の内部研修は行っているが勤務の関係で受講出来ない職員がいる。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	1 人	14 人	人	人	15 人
②	虐待は行われていない	9 人	6 人	人	人	15 人
③	プライバシーが守られている	人	11 人	4 人	人	15 人
④	必要な方に成年後見制度を活用している	人	2 人	2 人	4 人	8 人
⑤	適正な個人情報の管理ができている	人	11 人	4 人	人	15 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>ご利用者第一に考え、常に相手の身になって接して居るので出来ている。一部の利用者に関する状況報告（排泄の有無等）は用紙で記録している。メモを活用している。夜勤者と日勤のリーダー間の報告は聞こえない場所で出来ている。トイレの声かけは周りに聞こえないよう耳元で伝えるようにしている。利用者のいる場では他利用者の名前を控える等意識をしている。利用者への声かけ・言葉使い・身体介助等丁寧にやるようにいつも心掛けている。身体拘束や虐待は介護計画基準に基づき介護している。虐待は行っていない。拘束を行った方が利用者への危険を回避出来る事も多々あるが、拘束以外の方法で対応している。</p>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>気を付けてはいるが、狭い空間の中で口頭で報告すると他のご利用者に聞こえてしまい、個人情報が漏れてしまう事がある。昼食休憩中行う事もあるが、緊急の場合間に合わない。利用者の状態報告等はあまり場所を考えて行っているとは思えない。白紙での伝達は行えていない。職員同士の会話（無駄話）が多すぎる。歩行不安定で立ち上がりの多いご利用者に「ちょっと待って下さい」と制止することがある。明らかな身体拘束はないが、言葉の拘束はあるように思う。研修などの受講。④について活用の仕方が分かっていない。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・毎朝 A 4 の白紙を用意する。排泄等プライバシーに関する伝達事項は口頭ではなく白紙の紙に書き込み、リーダーが常に確認する。 ・成年後見人制度等、人権に関する内容を内部研修に組み込む。 	